

水痘にご注意ください！

1 水痘とは？

- いわゆる「水ぼうそう」で、水痘・带状疱疹ウイルスによって引き起こされる、感染性の強い感染症です。
- 12月の終わりと7月に春に流行しやすく、9歳以下の患者が多いです。

2 症状

- 潜伏期間は、通常は2週間程度
- かゆみを伴う発しんが顔や頭部に出現し、やがて全身へ拡大します。
- 発しんは、斑点状の赤い丘しんから始まり、水ぶくれになり、最後はかさぶたとなります。
- その他倦怠感、かゆみ、38℃前後の発熱が2～3日続くことがあります。

3 感染経路

- 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込む（飛沫感染・空気感染）
- ウイルスが付着した手で口や鼻に触れる（接触感染）

※発しん出現の1日から2日前からすべての水ぶくれが、かさぶたになるまで感染性があります。

4 予防対策

（1）水痘ワクチンを接種する

- 生後12月から36月（1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日）にある方は定期接種（無料）の対象です。
- 水痘患者と接触があった場合、接触後72時間以内に緊急的にワクチン接種をすれば、発症の予防、あるいは症状の軽減が期待できます。

（2）おもちゃやタオルの共有はしない

（3）咳エチケット

- マスクの着用
- マスクがない時は、ティッシュやハンカチなどで口と鼻を覆う
- 咳やくしゃみをおさえた手を洗う

（4）外出後の手洗いやうがいを励行する

（5）症状の重症化を避けるため、身体に発しんが見られる場合は早めに医療機関を受診する

※感染拡大防止のため、受診の際は症状や水痘患者と接触したことを事前に医療機関に連絡したうえで、マスクを着用し受診しましょう。

